

カーボンニュートラル診断ツール「キヅコ (KiduCO₂)」を本日リリース ～カーボンニュートラルや省エネの取組みを4ステップで簡単に診断～

独立行政法人中小企業基盤整備機構（理事長：宮川正 本部：東京都港区）（以下、「中小機構」という。）は、政府が掲げる2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、中小企業や小規模事業者等のカーボンニュートラルへの意識向上と具体的な取組みを更に支援していくため、カーボンニュートラルに関する理解度や省エネや脱炭素に関わる活動状況をネット上で簡単に診断できる、カーボンニュートラル診断ツール「キヅコ (KiduCO₂)」～リスクに気づこう、未来を築こう～を本日リリースしました。一般財団法人省エネルギーセンターとの連携協定締結を機に本診断ツールの活用を拡げ、省エネやカーボンニュートラルに向けた取組みを支援してまいります。

■キヅコ (KiduCO₂ : Key Navigator for reducing CO₂ emissions) (無料 Web 診断ツール)

「キヅコ」は、カーボンニュートラルの進展と気候変動による災害リスクの関係性に気づきを与え、脱炭素へ取り組む重要性を喚起し、具体的な活動を促進していくため、4つの設問（知る・減らす・測る・備える）に答えることで、自社の活動状況を簡単にチェックし、事業に影響する可能性のあるリスクが分かります。また、その診断結果をもとに、「省エネセルフ診断ツール（省エネルギーセンター提供）」や中小機構の専門家による相談窓口へ適切にナビゲートします。

1. 簡単な説明を読んで、会社の基本情報を選択

4つの設問に答えるだけで、貴社の対応状況を簡単チェック！

2. 4つのステップで設問に回答
省エネやカーボンニュートラルへの理解

- 省エネや脱炭素でコストが下がった企業の事例を聞いたことがある
- 取引先からCO₂の排出量の計算や削減、環境認証制度について問い合わせを受けたことがある
- カーボンニュートラルに取り組むことで、新規事業展開や販路拡大に繋がっていることを知っている

エネルギー使用量やCO₂排出量の現状把握

- 自社の電気・ガス・燃料などの使用量を把握している
- 測定器などを使ってエネルギー使用量を計測・見える化している
- 過去の光熱費データを使って消費傾向を確認・比較している

エネルギー使用量やCO₂排出量の削減

- 省エネやCO₂排出削減に向けた実行計画がある
- 太陽光発電（自家消費）などの再生可能エネルギーを導入している

災害への対策

- ハザードマップ等で事業活動に影響を与える自然災害等の想定を行っている
- 自然災害等の発生による従業員やその家族など人員への影響を想定している
- 自然災害等の発生による建物・設備への影響を想定している
- 自然災害等の発生による被害額や補償、資金繰りへの影響を想定している
- 生産や営業等に関する重要な情報の紛失や消失など情報管理への影響を想定している
- 当てはまるものがない

3. 取組状況を診断し、事業に潜むリスクを表示
相談窓口をナビゲート

総合結果

あなたの会社は
進捗ステップ

詳細スコア

貴社の他おすすの窓口

○「キヅコ (KiduCO₂)」特設 Web サイト

<https://biz-riskshindan.smrj.go.jp/survey>

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小企業・小規模事業者・スタートアップのイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

<本件に関する問い合わせ先>

独立行政法人中小企業基盤整備機構 経営支援部企業支援課（担当者：瀧口、北島、山根）

住所：東京都港区虎ノ門3丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

電話：03-5470-1564（ダイヤルイン）